

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

木の家

グループの名称

みまさか木の家 岡山普及会

直近採択グループ番号

06-0205-0615

(グループ代表者)

代表者名

米山 敏夫

代表者印

代表者所属先

YONEYAMA1級建築士事務所

代表者所在地

岡山県岡山市中区東川原161-1-204

代表者電話番号

086-273-6969

(グループ事務局)

事務局事業者名

YONEYAMA1級建築士事務所

事務局担当者名

米山 敏夫

印

事務局郵便番号

703-8255

事務局所在地

岡山県岡山市中区東川原161-1-204

事務局電話番号

086-273-6969

事務局FAX

086-273-4020

事務局担当者E-mail

office.yoneyama@nifty.ne.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
	長寿命型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
			認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸		
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸		
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸				
		性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		戸		
			加算申請		上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸					
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸					
	その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸						
ゼロ・エネルギー住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		4	戸			
	加算申請		上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸					
	その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸					
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸						
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積		優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積		10棟				
			1100㎡						
	その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		3棟						
			330㎡						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	事務局への利用申込み順による。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸				
優良建築物型									
採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸				
採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡				

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木の家	(地域型住宅供給対象地域) 中国、四国、山陰、近畿、及び日本国内
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) みまさか木の家 岡山普及会	(結成年) 2008 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0205-0615	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	主として瀬戸内地方の温暖・晴天という気候・風土に位置する為、「みまさか木の家 岡山普及会」の地域型住宅”木の家”ブランドの住宅は平成28年基準の改正省エネルギー基準相当の性能を標準とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	「みまさか木の家 岡山普及会」の地域型住宅”木の家”ブランドの住宅は、構造的に丈夫な総2階建てを旨とし、2階床梁・小屋梁を現し化粧とした 民家型住宅様式を推奨とする。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	当「みまさか木の家 岡山普及会」の地域型住宅”木の家”ブランドの住宅は、瀬戸内の温暖な気候に適した 軒を深くしたデザインとし、夏の日射対策を考慮したデザイン(建築主との協議による)を薦める事とする。 又、内装仕上げについて 壁は塗り壁又は和紙クロス貼、床は地域材の無垢床材を薦めるとすることとする。	○
④①～③の背景	当「みまさか木の家 岡山普及会」グループの活動域は 主に瀬戸内地方といわれる 温暖で、晴天が多く、台風等の災害が少ない地方の為、住宅の要求性能は低く、主として夏季を旨とした建て方とする考え方による。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域の住宅建築産業の発展と活性化の為、地域材を使った 地域に根ざした住まいを消費者に届けることとする。 又、住宅建築技術の継承・継続の為にも 手刻み加工・木舞組み土塗り壁構法等の伝統的構法をも出来得る限り推奨することとする。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 当「みまさか木の家 岡山普及会」の地域型住宅”木の家”ブランド住宅について、モジュール・基礎形状・階高等の標準寸法、断熱材仕様等の標準仕様を設定する。	○
②-1 建材・資材調達共同化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 生産合理化に向けた合理化委員会を設置し、検討を行うこととする。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 上記合理化委員会の窓口を事務局とする。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 当「みまさか木の家 岡山普及会」の地域型住宅”木の家”ブランド住宅の施工基準については、住宅金融支援機構仕様又は長期優良住宅仕様準じた仕様を標準とする。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 当「みまさか木の家 岡山普及会」の地域型住宅”木の家”ブランド住宅の検査は、「専業設計事務所」であるグループ内の担当設計事務所により、土法・建築基準法に則り検査を行うものとする。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 当「みまさか木の家 岡山普及会」の地域型住宅”木の家”ブランドの住宅の積算・見積りは、担当設計事務所がチェックすることを前提とする。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 設計は グループに属する「専業設計事務所」により、工事監理は同様にグループに属する「専業設計事務所」によることとする。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	■ ない □ ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない □ ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	■ ない □ ある → 内容:	
④ 安全及び健康の確保のための取組	■ ない □ ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当地域型住宅”木の家”ブランド住宅は、グループに属する専業設計事務所による許容応力度構造計算による構造の安全を確認することとし、地震に強い安全な”木の家”とする。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木の家	(地域型住宅供給対象地域) 中国、四国、山陰、近畿、及び日本国内	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) みまさか木の家 岡山普及会	(結成年) 2008 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0205-0615		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】			
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅の長寿命化に向けて消費者・請負者の両者により消費者の求めに応じて住宅履歴情報の蓄積を行い、消費者の安心と信頼を確保する。	○
		①-2 情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅の診断と点検は、1ヶ月、1年目は請負者の負担により、又 10年、20年、30年目点検は消費者の要請により、消費者の負担により行うものとする。	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 消費者の求めに応じて請負者が補修を行い、消費者の安心と信頼を確保する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-2 DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: みまさか木の家 岡山普及会として、年6回程度の住宅相談会を開催し、消費者の「住い」への相談に応じることとする。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	「みまさか木の家 岡山普及会」の地域型住宅「木の家」ブランド住宅の瑕疵担保の保全の為、「木の家」ブランドの住宅は必ず住宅瑕疵担保履行法に基づき住宅瑕疵担保責任保険に加入することとする。		◎
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】			
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「みまさか木の家 岡山普及会」内の設計事務所グループにより「地域型住宅」の施工未経験工務店への施工方法等の研修会等を行う。	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 品質管理の為、工事監理はグループに属する「専業設計事務所」によることとする。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記監理設計事務所よりの監理報告により確認する。	○	
	③-1 需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「みまさか木の家 岡山普及会」内の設計事務所グループによる技術力向上の為の勉強会を随時開催する。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 3	
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 2			
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術講習会への参加を促す。		○	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2階梁現し、遮音床工法の導入	○	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 内壁胴縁通気工法の開発	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木の家	(地域型住宅供給対象地域) 中国、四国、山陰、近畿、及び日本国内													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) みまさか木の家 岡山普及会	(結成年) 2008 年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0205-0615														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材の過半に、グループ構成員の提供する地域材を使用する。 ◎													
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上 ◎													
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> <td rowspan="6">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	○		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	○													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	地域材の供給フローは、原木供給→製材→木材流通→プレカット→施工 の流れとする。但し、流通の合理化・加工方法その他の理由により上記の構成員を経由しない場合もある事とする。													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:													
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:													
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域型住宅「木の家」ブランド住宅には伝統的な素材である、障子を使用することを推奨する。 ○													
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域型住宅「木の家」ブランド住宅には伝統的な素材である、漆喰や焼杉を使用することを推奨する。 ○													
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域型住宅「木の家」ブランド住宅には伝統的な素材である、漆喰や焼杉を使用した、地域に溶け込むデザインを取り込むことを推奨する。 ○													
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「みまさか木の家 岡山普及会」グループの住宅の設計は、グループに属する専業設計事務所により地域の伝統的なデザインの住宅を設計することとする。 ○													
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「みまさか木の家 岡山普及会」グループの住宅には、地域の伝統的住宅の住まい方の空間要素である「土間空間」を盛り込むことを検討することとする。 ○													
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「みまさか木の家 岡山普及会」グループの住宅は、地域の町並み形成に寄与する為、道路境界部分は植栽とすることを検討することとする。 ○													
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「みまさか木の家 岡山普及会」グループの住宅には、「和」の要素である「真壁」構法を取り入れることを検討することとする。 ○													
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	「みまさか木の家 岡山普及会」グループの住宅は、「梁現し化粧」構法とし、床材は地域の杉・桧・松・栗材等とし 内壁仕上げは塗り壁又は和紙カシ貼壁を推奨することとする。 ○													
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
	東日本大震災の復興に資する取組	「みまさか木の家 岡山普及会」グループとして、東日本大震災の復興に資する為に 生産に簡便で合理的・省コスト・省エネルギー・高耐久・高断熱、そして生活のし易い快適な最新の省エネ高断熱住宅の提案を作成・公表し、建設を促すことにより東日本大震災の復興に資することとする。 ○													
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	上記取り組みを、より発展・普及に努めることとする。 ○													

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 木の家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 中国、四国、山陰、近畿、及び日本国内
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> みまさか木の家 岡山普及会	<small>(結成年)</small> 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0205-0615	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴		
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。		
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
当みまさか木の家 岡山普及会が取組む 木造住宅・建築物は、地域材を使った 地球に優しく、高齢者・障害者にも優しい住宅・建築物を目指します。 又、地域で産出する地域材を多用することにより、地域の建築産業の活性化に寄与することをも図ります。 又、地域材の多用で、CO2 の排出削減に貢献するとともに、太陽光エネルギーの活用を図ることにより エネルギー消費の削減・エネルギーの創出により、地球温暖化防止に寄与することとします。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。